令和8年度

農林だより

6月号

長野県下高井農林高等学校
TEL:0269-82-3115

QRコードから
ホームページにアクセス!

田植え実習



５月１８日、夏を先取りしたような暑さとなったこの日、「農業と環境」の授業で１年生が田植えを行いました。

田植えは、苗の本数や間隔が収穫量や品質に与える影響を観察するための重要な作業です。教員の指導のもと、ロープで間隔を測りながら、稲の苗を一本一本丁寧に手植えしていきました。生徒たちは素足で田んぼに入り、濡れた土の感触に悲鳴を上げたり、時には泥まみれになったりしながらも、自分たちの手で水田一面に苗を植え終えることができました。

これから授業を通して、区画ごとに異なる植え方をした苗がそれぞれどのように育つのか、その成長過程や収穫量の違いを調査していきます。

田植えから収穫までの一連の作業を体験することで、生徒たちは農業の大切さや食への理解を深めていきます。



校内意見発表会

令和８年度農業クラブ校内意見発表会が開催されました。

この発表会は、代表として選ばれた生徒が農業や環境に関する身近な課題や将来に関する意見や抱負を発表することで、農業クラブの三大目標である「科学性」「社会性」「指導性」の理解を深めるとともに、主体的に課題を解決する力と態度を育てることを目的としています。

発表では、日本の農業の未来や地域社会の課題などについて、それぞれの視点から考えた内容が語られ、聴衆の生徒や教職員も真剣な表情で耳を傾けていました。

生徒総会

今年度の春期生徒総会が行われました。総会では、予算案などの一般議題に加え、農業クラブが生徒会から独立することに伴う会則改定やクラブ活動の精査について議決されました。

また、生徒総会終了後には農林祭のプレイベントが開催されました。昨年度の農林祭の振り返りと、今年度実施予定の企画の紹介が行われ、農林祭本番への期待が高まっているようでした。



下高井農林 Life Log



環境創造コースの３年が結成した「よろずや農林」班は、学校外の課題を解決することで地域のコミュニティの活力を取り戻す活動を進めています。地域からの依頼を受け、小学生へのしいたけの駒打ち体験の指導や、個人宅の庭園の整備、保育園でカブトムシのお家づくりのお手伝いと大忙し。

「地域の方のお役に立てたら嬉しい」と班員たちは話しており、今後の活動に意欲を示していました。